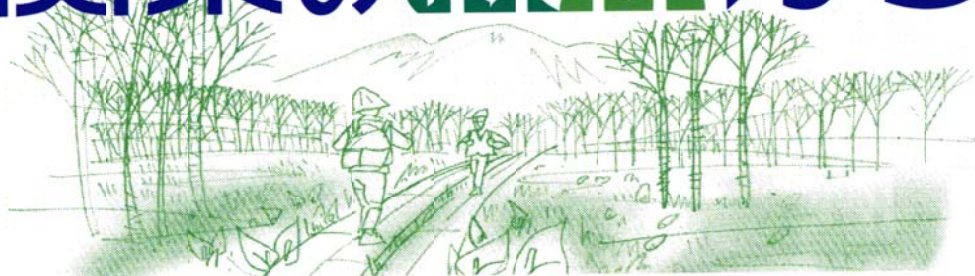


平成24年1月1日

第94号

関東の森林から



国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25

TEL.027-210-1158

<http://www.rinyamaff.go.jp/kanto/>

謹賀新年



雪晴れに輝く富士（山梨県南都留郡西桂町から）

（撮影者：山梨森林管理事務所 奥村 忠充）

年頭のご挨拶

前関東森林管理局長 臼杵 徳一

私と国有林 「野反湖周辺の自然をみつめて」

環境省自然公園指導員 中村 一雄 氏



2011・国際森林年

年頭のご挨拶

前関東森林管理局長 白杵 徳一



赤城山南面から望む富士山(群馬県前橋市)

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

平成23年を振り返ってみますと、昨年は、東日本大震災、新潟・福島集中豪雨、台風12、15号等により、関東森林管理局管内においても甚大な被害が発生したところです。被災された方々及び関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災では、管内でも福島県相馬市の松川浦海岸防災林(面積56畝、主要樹種クロマツ)の立木が消失するなどの被害を受けたほか、現在においても福島第一原発事故の影響を大きく受けています。被災地の復旧・復興に当たっては、仮設住宅用の丸太杭、合板・製材用素材の安定的な供給、地域の雇用の場の確保や早期の事業発注に取り組んできたところです。今後は、海岸防災林の復旧、生活圏に隣接した森林における放射性物質の除染、除染土壌等の仮置き場用地としての国有林の提供などについて、関係市町村等と連携し、組織を挙げ取り組んでいく所存です。

また、大陸と一度も陸続きにならなかったことがなく、世界的に貴重な固有種が数多く生息・生育している小笠原諸島が6月に世界自然遺産として登録され、国有林では、屋久島、白

神山地及び知床に続く4箇所目の世界自然遺産となりました。今後は、世界自然遺産としての価値が未永く維持されるよう、小笠原諸島森林生態系保全センターを拠点としてアカギ等の外来種の駆除など、森林生態系の保全について積極的に取り組んでいくこととしています。

一方、昨年は、森林・林業再生プランの実行元年であり、同プランを実現するための森林法の一部改正、森林・林業基本計画の閣議決定など、森林・林業において重要な年となりました。

現在、関東森林管理局では、地域を挙げた森林・林業再生を実現するため、「森林・林業再生へのチャレンジ」として、森林共同施業団地の設定、林地残材等の有効利用など、一署一課題に取り組んでいるほか、主要林業県において、「民国連携・地域林業再生意見交換会」を地方自治体、林業・木材業関係者等と行っているところです。さらに、市町村の森林整備計画の作成支援を行うフォレストターの候補者である准フォレストターや林業専用道技術者の育成のための研修について、利根沼田森林管理署を拠点として実施しており、昨年の准フォレストター研修には、国有林職員を含め管内各都県の森林・林業担当者72名が参加しました。

国有林野事業については、現在、公益重視の管理経営をより一層推進し、地域の森林・林業の再生を支援する役割が果たせるよう、組織・事業の全てを一般会計に移行するための検討が進められています。

今後の国有林野の管理経営に当たっては、地域関係者や民有林との一層の連携強化、低コスト化を実現する施業システムの開発と普及等による森林・林業再生への貢献、国産材の新規需要開拓と安定供給体制を構築していくことなどが重要であり、国有林職員一人ひとりが地域の森林・林業を牽引するマインドを持ち、森林・林業・木材産業に対する社会の要請に柔軟に対応していく必要があります。

関東森林管理局としましても、これまででも多岐にわたる役割を担ってきた管内国有林を今後とも国民共有の財産として適切に管理し、国民の皆様からの負託に適切に応えられるよう取り組んで参る所存ですので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上、年頭に当たり、所感の一端を申し上げますが、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

「国有林野等所在市町村長 有志連絡協議会」を開催 企画調整室

関東森林管理局では、「開かれた国民の森林」の実現に向け、国有林野等が所在する地域の市町村長との意見・情報交換を目的とした会議を毎年開催しています。

今年度は、去る11月16日（水）に、各地域の代表市町村長や林野庁幹部、関東森林管理局幹部及び署長等が出席し、東京都江東区の木材会館で開催しました。

当日は、会議のオプショントして、会議開始前に、会場近隣の「木材・合板博物館」を訪れ、木材全般、加工利用について岡野館長に説明頂きながら、視察を行いました。

博物館には、世界各地の木材・合板の見本やベニヤレース（丸太をカ

ツラムキして単板を作る機械）な

どが展示されており、

参加者は熱心に説明を

聴いていました。



ベニヤレース



挨拶をする臼杵前局長

会議では、林野庁より、森林法改正や震災対策、予算等の最新情報を、関東森林管理局より、森林共同施業団地やフォレストスター研修等の取組について説明をし、出席市町村長と森林・林業全般に関すること、国有林野事業に関することについて情報・意見交換を行いました。

特に、森林整備の推進対策や、木材の利用促進（公共建築物の木造化推進や広葉樹の利用等）、木質バイオマスエネルギー、福島第一原子力発電所事故に伴う森林除染等が話題となり、活発な議論がなされました。

頂いた貴重なご意見を踏まえ、国民視点にたった国有林野の管理経営に努めるとともに、森林・林業の再生に向けて、地域との連携をより一層深めて参りたいと考えています。

国有林モニター募集 企画調整室

関東森林管理局では、平成24年度から平成25年度にかけての2年間活動して頂く「国有林モニター」を70名募集しています。

モニターになって頂いた皆様には、国有林野事業に関する情報や資料、各種イベント開催情報などを配信するほか、アンケート等へのご協力等をお願いしています。また、年に1回開催される国有林モニター会議へのご出席や、国有林野事業や森林・林業への想いを寄稿頂いております。

国有林モニターの詳細については、
関東森林管理局ホームページ
<http://www.rinyamaff.go.jp/kanto/apply/publicsale/kikaku/monitor.html>をご覧ください。



平成23年度に開催したモニター会議の様子

応募条件

○ 関東森林管理局管内（福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、静岡県）にお住まいで、国有林野の管理経営に関心がある成人。

○ インターネット及びE-mailを利用できる環境にある方で、PDFファイルやエクセル・ワードで作成したファイルを閲覧可能な方。

多くの方のご意見を反映するため、過去にモニターを経験された方にはご遠慮頂いております。

応募方法

左記必要事項記載の上、平成24年2月20日（必着）迄に、左記アドレスへE-mailにてご応募願います。

必要事項

- ①氏名（ふりがな） ②性別
- ③生年月日 ④住所（郵便番号）
- ⑤電話番号（FAX番号）、
- ⑥E-mailアドレス ⑦職業
- ⑧モニター募集を知ったきっかけ
- ⑨応募の理由（100字程度）

お申し込み・お問い合わせ先

関東森林管理局 企画調整室

電話 027-210-1150 国有林モニター担当

E-mail: kanto.kikaku@rinyamaff.go.jp

赤谷の森から

赤谷プロジェクトの軌跡

第4回（赤谷の森管理経営計画書）

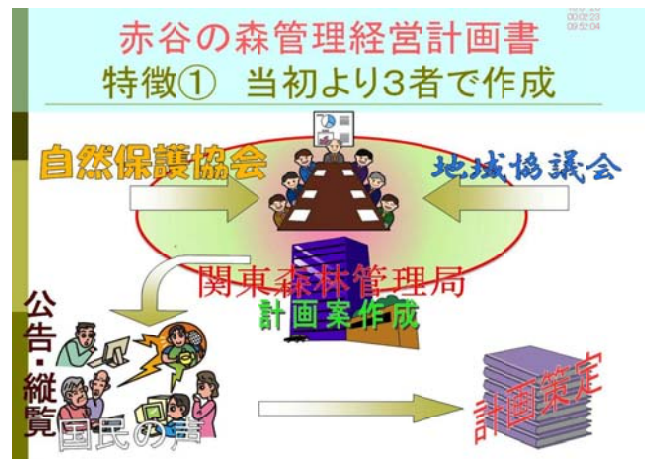
前回まではプロジェクトの主な取組についてご紹介しました。今回は新たに策定した「赤谷の森管理経営計画書」についてご紹介します。

昨年度は、赤谷エリアを含む群馬県北部に位置する国有林の今後5カ年における森林の取り扱いを定める森林計画等の策定の年に当たり、その一部として赤谷プロジェクトのこれまでの取組内容と今後の森林の取り扱いを定めた「赤谷の森管理経営計画書」を新たに別冊として策定しました。

この計画書には他の計画書と異なる以下の3つの特徴があります。

計画作成当初より協定3者が参加

従来の計画では、国が計画案を作成した段階で国民に対し公告・縦覧し、意見を聴いた上で作成していましたが、今回作成した別冊については計画の検討段階から協定3者で打ち合わせを重ね、取りまとめたことが大きな特徴となっています。



生物多様性の保全と木材生産の両立を目指した森林の取り扱いを記載

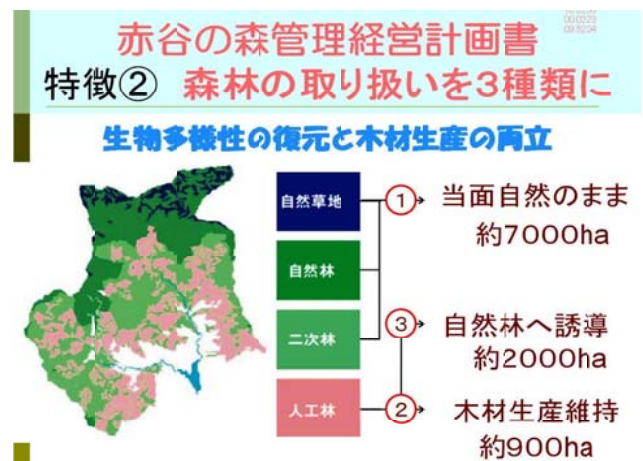
生物多様性の保全と木材生産を両立するため、森林を3つに区分し、その取り扱いを記載しました。

① 自然の力によって成立した森林は、原則として自然のままにします。（約7千ha）

② 人為によって形成された人工林のうち、木材生産に向いている地域については、当面人工林として維持します。（約900ha）

③ それ以外の人工林は、本来あるべき自然林（約2千ha）に誘導することとしました。誘導する方法として、当面は植栽に頼らず、自然木の遷移の力を利用して、自然木

を導入させるための間伐を繰り返します。



順応的管理について明記

赤谷プロジェクトではこれまでご紹介したように、人工林の自然林への復元、治山ダム中央部撤去等による溪流環境の復元などに取り組んでいます。具体的な手法については確立されておらず、成果が出るまでには相当の時間が必要と思われます。そこで順応的管理という考えに基づいて計画を柔軟に見直していくこととしています。

具体的には「最新の知見から計画、実行」→「継続的なモニタリングと途中経過の評価検証」→「柔軟な計画の見直し」。このプロセスの繰り返し

といったイメージです。科学的なものだけではなく、森林・林業を取り巻くあらゆる情勢や世論といったものも含めて柔軟に計画を見直すことにより、国民の森林にふさわしい管理経営を目指します。

赤谷の森管理経営計画書 特徴③ 順応的管理について明記



赤谷プロジェクトが掲げる目標の実現に向けた管理経営を行うことを明確にした本計画書の策定は、予算、実施主体、手法など、検討すべき課題も多いが、大変意義深いものであると関係者からも評価を頂いています。皆さんも是非一度「赤谷の森管理経営計画書」にじっくり目を通して頂いて、多くのご意見を赤谷プロジェクトにお寄せください。



ニッコウキスゲの咲く湖畔

群馬県中之条町入山の国有林内にある野反湖周辺は、上信越高原国立公園の第二種特別地域に指定されており、昭和51年には野反自然休養林にも指定され豊かな自然が保護されています。

野反湖は東京電力が発電用水調整池として国内初のロックフィルダムを建設し昭和31年から運用しているダム湖ですが、ダムの出来る前は野反池と呼ばれる周囲4^{キロメートル}ほどの池を囲んで湿原が形成され、ツルコケモモやヒメシヤクナゲ、チングルマ

私と国有林

「野反湖周辺の自然をみつめて」

環境省自然公園指導員 中村 一雄



野反池の全景(昭和29年8月28日撮影)

など多くの高山植物が生育していました。大井次三郎、武田久吉、久内清孝といった今もその名が残る植物学者が調査に訪れたという記録も残っています

ダム湖が完成した昭和31年には当時としては最新のバンガローを備えた野反湖キャンプ場が開設され、国鉄長野野原駅から定期バスが運行し、「知る人ぞ知る」存在だった野反池から、公共の交通機関で手軽に足を運べる野反湖へと変貌を遂げました。昭和31年といえば経済企画庁の経済白書『日本経済の成長と近代化』で「もはや戦後ではない。」と記述



湖畔を彩るレンゲツツジ

されているように、日本が戦後復興から経済の成長へと軸足を移す過程にありました。この年から父が『野反湖ヒュッテ』を経営することになり、当時、小学一年だった私は中学校を卒業するまで、夏休みの多くの時間を『野反湖ヒュッテ』に訪れるお客様とハイキングをしたり釣りをしてしたりと、楽しい時間を過ごしていました。その後、昭和49年から『野反峠休憩舎』を経営したことで、国有林や保安林ということを意識するようになりました。日本は高度経済成長の中で、豊かな自然をスキー場やゴルフ場に開発する時代が続き、気がつくとも各地で多くの動植物が絶滅の危機に瀕し、自然景観が失われていました。当時、野反湖周辺にもスキー場の開発計画もありましたが、

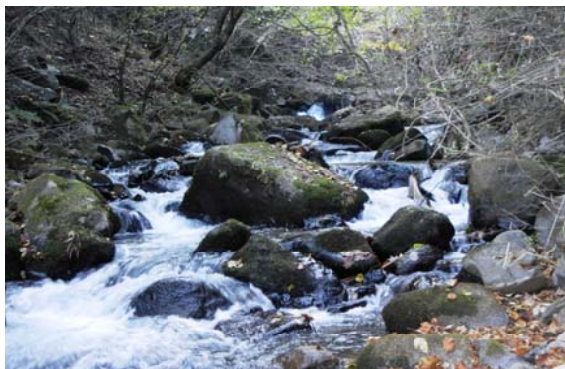


地元の中学により植栽されたシラネアオイ

国有林内の保安林という事情もあり実現しませんでした。その結果、今では地元の中学生が『地域ふれあい学習』の一環として植栽した7万本以上のシラネアオイの花が風に揺れ、レンゲツツジやニッコウキスゲが湖畔を彩り、お客様が「私はニュージーランドにも行きましたが、日本でこんなすばらしい景色が見られるとは思わなかった。」と、感嘆する自然が残ることになりました。『野反峠休憩舎』の経営をはじめた当時は、時に窮屈に感じた国有林や保安林の規制でしたが、今は国有林であればこそ開発されずに残った野反湖周辺の自然景観を多くの人が楽しめるよう、人と自然に心を配った林野行政に期待しています。

森づくり最前線

磐城森林管理署 勿来森林事務所 首席森林官 梁取 弘和



風光明媚な四時川風致探勝林



例年ダム祭りが開催される四時ダム



津波被害を受けた潮害防備保安林

私が担当している勿来森林事務所は、福島県いわき市の南部に位置し、茨城県境付近の国有林約1,900㍍を管轄しています。

当事務所管内の特徴は、風光明媚な四時川風致探勝林、海岸の潮害防備保安林（津波・高潮などによる被害や強風による海水の塩分被害を防止するために配備し指定された森林）、スギ・ヒノキの木材生産を主たる目的とした林業経営を行う森林など多岐にわたっています。

四時川風致探勝林は、春は新緑、秋は紅葉等一年を通して色々な顔を見せてくれます。例年、4月末には四時川下流にある四時ダムにおいて、ダム祭りが開催され、多くの人で賑わいを見せます。

当事務所は、本署といっしょに国有林のパネル展示や「モックン」（木の枝などを人に見立てて作るキーホルダーなど）作り等を通じ、地域の人々との交流を図ってきました。昨年は、東日本大震災の影響からダム祭りの開催は見合わせとなりましたが、それに代わる催しとして「がんばっぺinしとき」と銘打ったミニイベントが開催され、当事務所も参加し、小規模ながらパネル展示を行いました。

なだらかな海岸線が続き、砂浜がきれいなことなどから勿来県立自然公園の指定を受けている潮害防備保安林は、マツクイムシの被害などにより高齢のクロマツが枯れてきましたが、枯れた木を伐ってそこに新たな苗木を植えるという改植を進めながら維持・管理をしています。

今回の大震災による津波の被害で老木が折れたり、林内にゴミが流れ込むなどしましたが、地域の皆さんとともにゴミを取り除くなど復旧に向けて取り組んでいます。

また、当事務所管内には目兼スギ展示林があります。この展示林は明治時代に植栽され、昭和4年には、林業試験場技師の河田博士の指導により間伐の試験地（学術参考林）に指定し、これまで4回の間伐と1回の択伐（成長に伴い混み合った林の立木を一部抜き伐り整備）を実施しています。

6.74㍍の区域に樹高30㍍以上、胸高直径70㍍（幹周り210㍍）級のスギが占める森林となっていることから、林業関係者等が視察に訪れたり、森林教室のフィールドなどとして利用しています。機会がありましたら是非訪れてください。

昨年4月に当事務所に赴任して9か月余りになりますが、大震災の復旧・復興と原子力発電所事故の早期収拾等まだまだ先の見えない状況にあります。

今後、崩落地の復旧や森林の放射能除染等多くの課題に対応しなければならないと思いますが、できることからひとつひとつ解決し、目兼スギのような森林を後世に残せるよう頑張りたいと思います。



目兼スギ展示林

ふかくさかのん

管内のいちおしスポット



深草観音

■ 山梨森林管理事務所

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/yamanasi/index.html>

〒400-0021 山梨県甲府市宮前町7-7

TEL:055(253)1336(代表) FAX:055(252)9935



「深草観音堂」に架かるはしご



観音堂(岩穴の中にあります)

以前、観音堂の中に安置されていた御本尊の「岩堂十一面観世音菩薩」は、現在、瑞岩寺に保管されており、岩穴の中には、身代わりに聖観音、千手観音、如意輪観音などの観音像が祀られています。

御本尊は、高さ一寸八分(5.4センチ)と小さいものですが、33年に1度開帳される秘仏となっています。

また、毎年4月17日には、奥の院に移され「深草観音まつり」が開かれ、県内外から参拝者が訪れ、多くの信仰を集めています。

(山梨森林管理事務所 広報広聴連絡官 神林弘之)

山梨県甲府市街からほど近いレクリエーションの森「甲府自然休養林」内に、昔の人々の信仰の深さを感じさせる「深草観音」があります。

JR中央本線甲府駅北口からバスに乗り約15分、終点の積翠寺バス停で下車。武田信玄公が産湯をつかったと伝えられる積翠寺を正面に見ながら、右手に折れ、しばらく行くと、深草観音に通ずる遊歩道となります。深草観音には徒歩1時間程で到着します。

平安時代後期から江戸時代にかけては、観音信仰が盛んで、多くの人が旅をしながら観音霊場の札所を巡ったと言われています。この地は、要害山の南麓に位置する瑞岩寺の跡地で、この一帯は岩肌が露出し、岩の壁面が作り出す自然空間は幽玄で荘厳な霊場としての雰囲気演出しています。

深草観音は、高さ数十センチもの巨岩の中腹をくりぬいてつくられた瑞岩寺の奥の院「深草観音堂」に祀られており、甲斐国観音霊場6番札所で、別名、「岩堂観音」とも呼ばれています。



赤谷の森自然散策

冬の森林・冬の観察

冬のフィールドサイン

参加者募集

実施日 平成24年2月19日(日)

開催場所 赤谷の森(いきもの村ほか)

集合場所 関東森林管理局(前橋市)又は利根沼田森林管理署(沼田市)

参加資格 小学生以上(小中学生は保護者同伴)

募集人員 30名(定員になり次第締切)申込方法 イベント名「赤谷の森自然散策」及び参加者全員の①氏名(ふりがな)②生年月日(年齢)

③性別④郵便番号⑤住所⑥電話番号⑦希望する集合場所を、当センター担当者にお知らせ下さい。

申込締切 平成24年2月13日(月)

参加費 無料

お申し込み・お問い合わせ先

赤谷森林環境保全ふれあいセンター 担当: 竹田・星田

〒378-0018 群馬県沼田市鍛冶町30023-1

電話番号 0278-6001272

FAX 0278-2415502

E-mail akaya_postmaster@rinya.maff.go.jp

http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/akaya_fc/news/index.html



国民の森林・国有林

■ ■ 編 発
F T 集 行
A E 所
X L 所
(0 (0
2 2
7 7
))
2 2
1 1
0 0
・ ・
1 1
1 1
5 5
9 8
課 局